

なかつか 亮

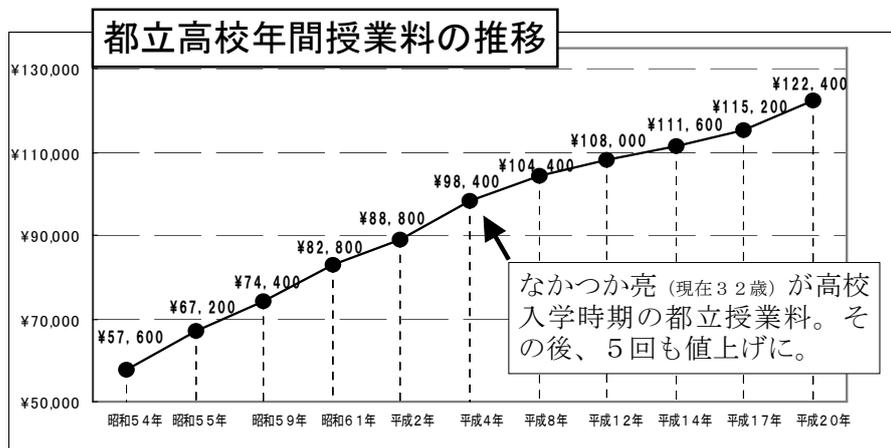


遅れた日本の教育事情 学費無償は世界の流れです

「高すぎます」 高校・大学の学費

奨学金の充実、給付制度のスタートを

品川区議会
「予算特集」パート2



前号に続き区議会予算委員会の報告です。今回は「品川区奨学金事業」について。高い学費から「私立高校も合格したが、親の顔を見ると都立しか選べない」「奨学金といっても卒業後は莫大な借金となるので躊躇する」そんな声が上がっています。私は「親から子どもへの格差・貧困の連鎖は大問題」と教育の機会均等にたつた、奨学金の充実、学費無償化を訴えました。

4月、都立高校授業料が値上げ

東京都は今年4月から都立高校授業料を値上げする「条例」を都議会に提出。自民、民主、公明等が賛成し成立しました。共産党と生活等は反対しました。

2〜3年に一度
上の表をご覧下さい。近年は2〜3年に一度の授業料の値上げ。積立金、生徒会費、教科書代、制服代

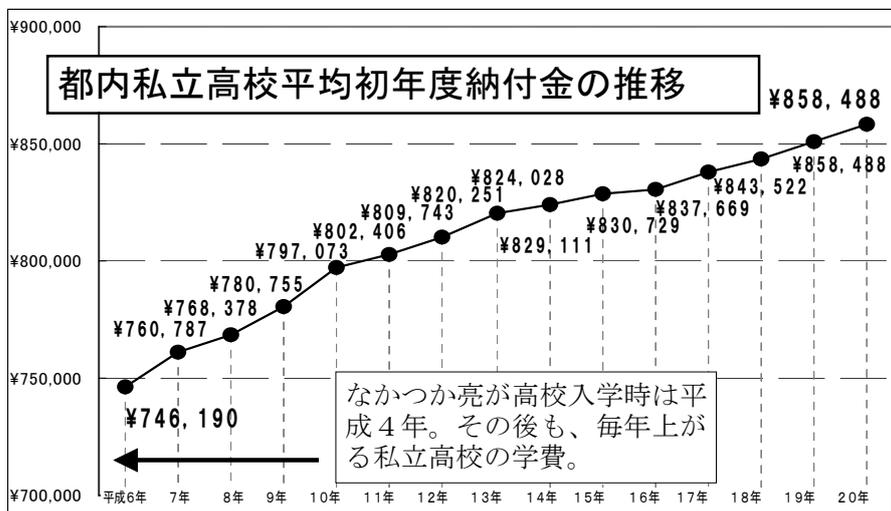
を含めると初年度は30万円余。定期代、部活動費なども含めると、ずっとう重い負担です。サラリーマンの平均給与のマイナス更新が続く中、高い教育費は家計を圧迫。「授業料を払えず高校を中退した」など深刻な事態も生まれています。私はこども達の学ぶ機会を奪う政治は間違い。改善が急務と思います。裏へ

区議会の議事録全文は品川区議会公式HPに掲載されています。

奨学金の充実を

85万円 私立高校

私立高校の学費はもつと深刻。東京都の調べでは私立高校の初年度納付金は85万円を超えています（左参照）。3月6日の予算委員会、私は高校、大学



の異常な高学費を紹介。学ぶ機会が奪われていく生徒の実態を示し、「経済的地位によって教育上差別されない」との教育基本法（下参照）に立脚した、「品川区奨学金の充実を」と求めました。

品川区ができること

現在の品川区奨学金は高校学費が年々上がっているのに、奨学金は8年連続で同額です。私は学費の推移を示し、「在学資金（奨学金）を増やすべき」と提案しました。担当課長は「経済状況をよく見守っていくが、今は据え置き」と答弁。私は「経済状況というならば、それこそ奨学金の充実が必要」と反論しました。



大学生も対象に

現在の大学の学費をご存知でしょうか。なんと初年度平均で国立大学81万円、私立大学130万円。こんなに高いのです。

私は高校生限定の区奨学金について、「大学生が対象の日本学生支援機構は有利子奨学金が中心。無利子が受けられず進学できない高校生も生まれている。無利子の区奨学金を大学生へ、対象拡大してほしい」と提案しました。担当課長は「それぞれの役割分担」との理由で拒否。大学進学を望む品川の高校生に

教育基本法（平成十八年改正）
 第四条（教育の機会均等） ①すべて国民は（中略）、社会的身分、経済的地位又は門地によって、教育上差別されない。②（省略）③国及び地方公共団体は、能力があるにもかかわらず、経済的理由によって修学が困難な者に対して、奨学の措置を講じなければならない。

給付制度の創設を

目を向けませんでした。日本の奨学制度は基本的に卒業後は借金に。莫大な金額から、利用への躊躇が生まれ、進学をあきらめる高校生もいます。「学びたい」と願う高校生の希望をかなえるのは政治の役割です。世界に目を向けると、返す必要のない「給付制度」が奨学金の中心。学費も無償が「当たり前」です。まだまだ遅れた日本の教育事情。奨学金の充実、学費無償化にむけてがんばります。なかつか亮

第5回区民アンケート実施中。回答は、4月1日現在で745通。

次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

4月25日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
 弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
 連絡先 昼：区議控室 5742-6818 夜：事務所 3773-3231